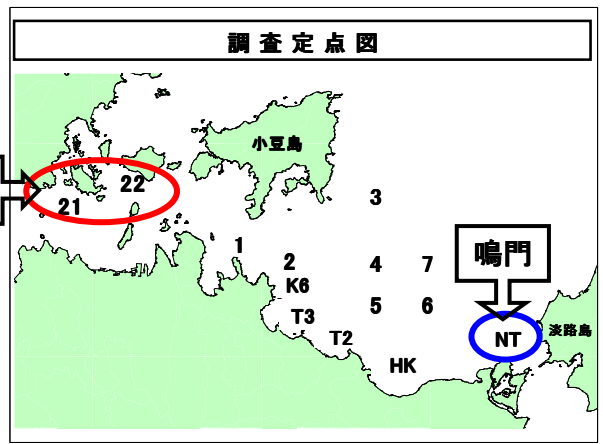


カタクチイワシ卵稚子出現状況

(2010. 11- 1)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



調査方法

調査日: 11月5日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点

(調査定点図参照)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.11.2	2	1	0	0	0	0	0	0	欠測	欠測	欠測				0.4	-
2008.11.5	0	1	0	0	0	0	0	0	欠測	欠測	欠測	0	0	0	0.1	0.1
2009.11.5	0	4	1	0	1	0	0	0	10	5	71	0	0	0	8.4	6.6
2010.11.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

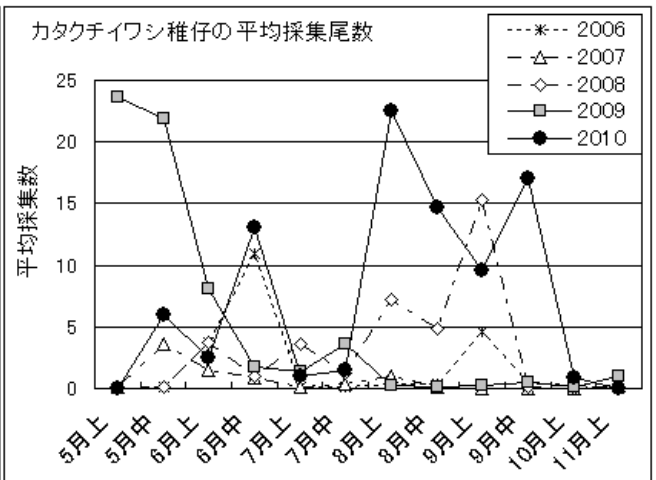
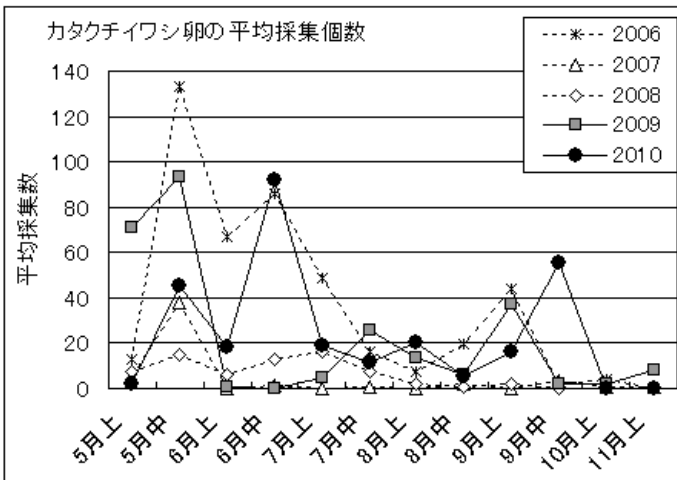
【カタクチ稚子】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.11.2	0	0	0	0	0	0	0	2	欠測	欠測	欠測				0.3	-
2008.11.5	0	0	0	0	0	0	0	0	欠測	欠測	欠測	0	0	0	0.0	0.0
2009.11.5	0	2	1	0	1	0	0	0	0	3	4	0	0	1	1.0	0.9
2010.11.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

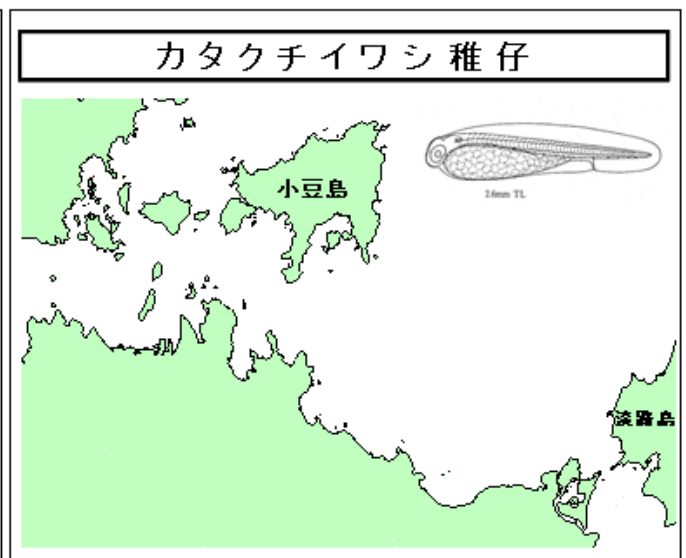
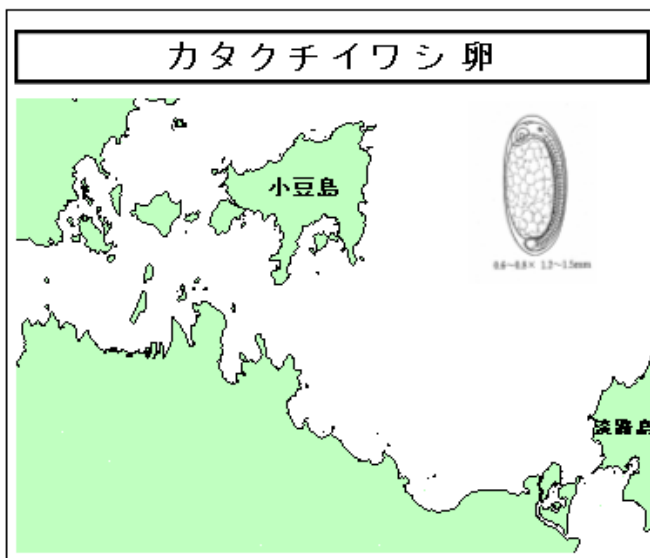
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は0個で、昨年同時期を大きく下回った。

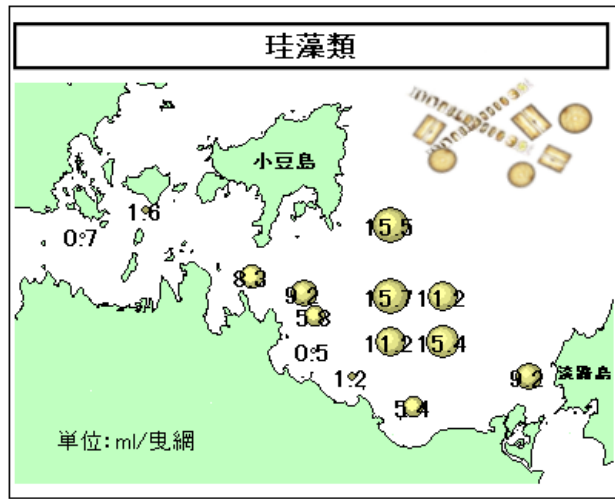
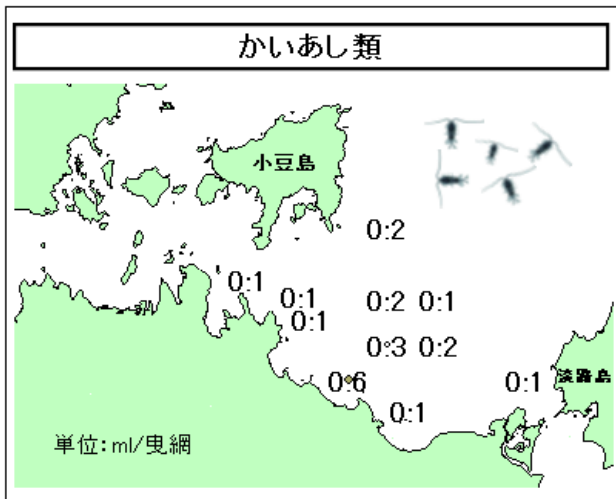
一方、稚仔の出現も0尾となり、昨年同時期を下回った。いずれの定点でも、カタクチイワシの卵稚仔は確認されなかった。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、10月以降の水温は、10月は平年並みからやや高め、11月は平年並みからやや低めで推移している。

餌料生物として重要なかいあし類は、11点の平均は0.19mL/曳網と前回の19%と減少した。

カタクチイワシの成魚であれば利用可能な珪藻類は、今回9.0mL/曳網で前回の約24.4倍と非常に多かった。

【参考】



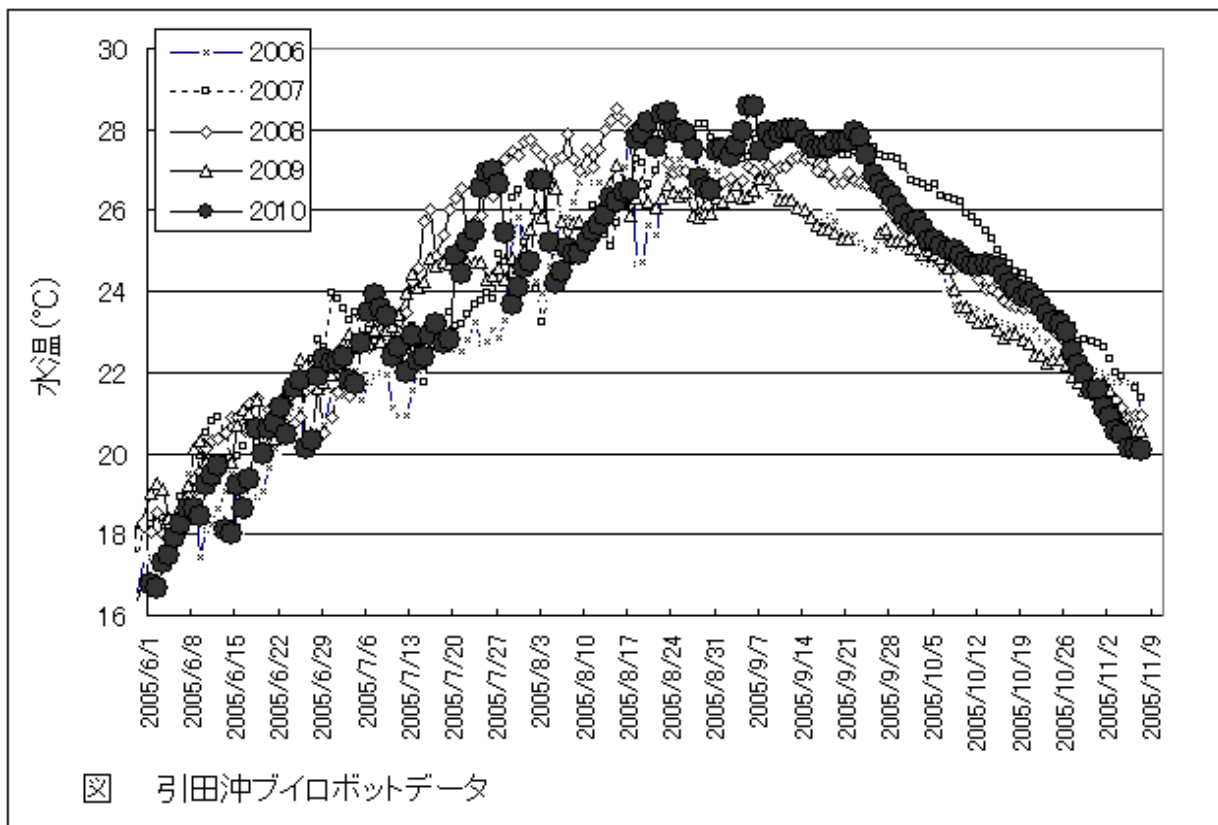
今回の平均: 0.19

前回の平均: 1.00

今回の平均: 9.04

前回の平均:

0.37



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。